

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	スーパーサイエンスハイスクール	事業開始年度	平成14年度	作成責任者		
担当部局庁	初等中等教育局	担当課室	教育課程課	教育課程課長 平林 正吉		
会計区分	一般会計	上位政策	科学技術関係人材の育成等			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	スーパーサイエンスハイスクール企画評価会議や研究開発協議会の開催、中間評価・事後評価の実施等を実施している。					
実施状況	平成21年度においては、31指定校の評価を実施している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	20	2	2	1.7	1.5
	執行額	2	1	1		
	執行率	7.8%	72.4%	62.8%		
	総事業費(執行ベース)	2	1	1		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	事業の実施に関して、事前に開催時期・回数等の検討を行い、関係規定に基づき、証拠書類等を確認し、会議出席者への謝金・旅費等を支出している。				
	見直しの 余地	これまでも単価等の見直しを行い予算の効率化を図ってきたところである。今後もこれまで同様、事務的経費の効率的で適正な執行に努める。				
予算監 査の 所見 の 効 率 化	1. 事業評価の観点:この事業は、科学技術・理科、数学教育の重点化を図るため、スーパーサイエンスハイスクール企画評価会議や研究開発協議会の開催、中間評価・事後評価等を実施する事業であり、長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所見:この事業は、所掌する行政事務を推進するために必要な経費であるが、引き続き効率化に努め、予算を縮減すべきである。					
補記	スーパーサイエンスハイスクールにおける所要経費については、科学技術・学術政策局で実施。					

A. 文部科学省
1百万円

諸謝金 0. 5百万円
職員旅費・委員等旅費 0. 2百万円
教職員研修費 0. 3百万円

を含む

(スーパーサイエンスハイスクール企画評価会
議や研究開発協議会の開催、中間評価・事後
評価の実施等を実施。)

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	協力者謝金	0.5			
旅費	協力者旅費	0.2			
会議費	ミネラルウォーター等	0.2			
その他	印刷製本費、借損料	0.1			
計		1.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0